

広報

あしや

平成16年 3月15日号
(2004年) No.888

毎月1日・15日発行

発行 / 芦屋市役所(広報課)

☎0797-31-2121

〒659-8501

兵庫県芦屋市精道町7番6号

ホームページ

http://www.city.ashiya.hyogo.jp/

メールアドレス

info@city.ashiya.hyogo.jp



茶屋集会所でのトーク風景

市民と市長「集会所トーク」

1月23日の朝日ヶ丘集会所を皮切りに市内14カ所で、のべ350人の市民の皆さんが参加し、活気ある集会所トークが開催されました。

第16回 芦屋さくらまつり

春爛漫！ 好きです！
桜も 人も このまちも！

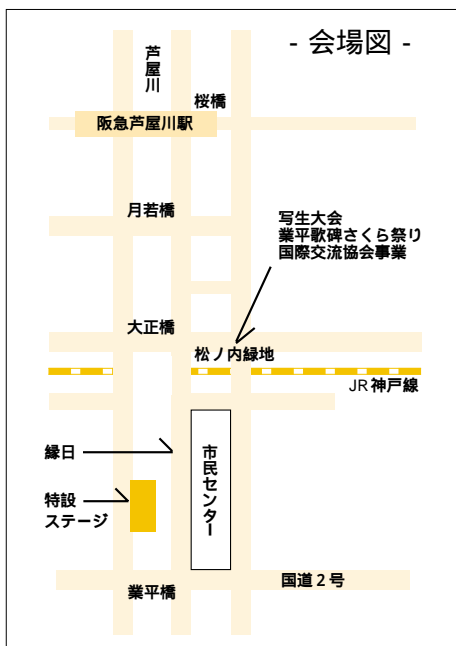
問い合わせ 芦屋さくらまつり協議会
(コミュニティ課内) ☎38-2007

芦屋さくらまつりイベント

詳しい内容は、3月28日(日)の新聞折り込みチラシでお知らせします。

4月3日(土) 午前11時～午後8時 緑日
午後1時～1時15分 オープニング・セレモニー
午後1時15分～4時 潮見中学校吹奏楽部演奏、県立芦屋南高校・県立国際高校邦楽部等曲演奏、青山浩志「春風ライブ」、ジュスカ・グランパール「アコースティックジャズ」
午後5時～7時 第5回ワールド ミュージック フェスタ in ASHIYA(第1日)

4月4日(日) 午前11時～午後8時 緑日
午前11時15分～午後3時 プサルターアンサンブル・チロル「ミニ・コンサート」、ジャズメーカー「ジャズライブ」、ワカバ「アコースティックポップス」、春日出ドライブーズ「ゴスペル」、西本淳「サクソフォン演奏」
午後4時～7時 第5回ワールド ミュージック フェスタ in ASHIYA(第2日)
午後7時～7時15分 芦屋さくらまつり特別企画 “海外旅行” 抽選会



周辺道路は、全面駐車禁止となっています。車でのご来場は、かたくお断りします。4月2日(金)正午から4日(日)の終日、大正橋～国道2号・業平橋間は、車両通行止めになります。ご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。

各地からの桜の開花だより、胸をときめかせる季節がやってきました。芦屋川の桜も、開花のチャンスがうかがっています。その桜の下、今年も四月三日(土)と四日(日)に芦屋川河畔で、芦屋さくらまつり協議会主催による「第16回芦屋さくらまつり」が開催されます。「第五回ワールドミュージックフェスタ in ASHIYA」などのイベントや、商店街加盟店など約四十団体のにぎやかな緑日が、皆さんのお越しをお待ちしています。うららかな春の一日をお過ごしください。

市役所からのお知らせ

【市役所本庁舎・芦屋病院は4月から全面禁煙になります】

昨年5月1日から施行された「健康増進法」では、官公庁など多数の人が利用する施設の管理者は、他人のたばこの煙を吸わされることにより、健康に悪影響が及ぼされる受動喫煙の防止に努めなければならないと定められています。

これを受け、4月1日から市役所本庁舎、芦屋病院内は全面禁煙とします。

来庁時の喫煙は、市役所北・南玄関入口東側に設置の灰皿(芦屋病院は屋外の指定場所)をご利用ください。

市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

問い合わせ 管財課 ☎38-2013
芦屋病院 ☎31-2156

【市職員の事務服を廃止します】

経費節減を図るため、4月から事務服を廃止します。なお、すでに貸与している事務服については、しばらくの間、引き続き着用する職員もおりますので、市民の皆さんのご理解をお願いします。

問い合わせ 人事課厚生担当 ☎38-2020

ストリート・パフォーマンス/大阪芸術大学～むつごろう雑技団～
4月3日(土)・4日(日)の両日、さくらまつりの会場内に出没!! 会場内を探してください

芦屋さくらまつり 協賛イベント

写真コンクール作品募集

問い合わせ 観光協会事務局(経済課内) ☎38-2033

テーマ 2004年の芦屋川の桜と芦屋さくらまつり会場風景
規格等 <カラープリント>四つ切り(ワイド、組写真不可)
<デジタルカメラ>A4サイズ、いずれも2点以内
応募 4月12日～30日までに上記へ

応募用紙は、経済課・市民センター・ラポルテ市民サービスコーナー、さくらまつり緑日会場(観光協会コーナー)にあります。

応募作品の返却はしません。
賞...最優秀賞(市長賞)、優秀賞(商工会会長賞)ほか

モンテメール春休み写生大会

日時 4月1日(木)午前11時～午後2時
雨天の場合は、2日(金)に順延します
会場 松ノ内緑地(市民センター北、大正橋東詰)で受け付け
対象 小学生(新1年生を含む)
持ち物 画材用品(画用紙は用意します)
提出 作品は、当日の午後2時30分までに受付会場(松ノ内緑地)へ
全員に参加賞を進呈します。
問い合わせ 芦屋ステーションビル(株)モンテメール会事務局 ☎32-8011

業平歌碑さくら祭り

日時 4月3日(土)午前11時～午後4時
会場 松ノ内緑地(市民センター北、大正橋東詰)
内容 献句、短歌朗詠ほか
問い合わせ 芦屋文化友の会 ☎32-0856

ダイヤブロックで遊ぼう

日時 4月4日(日)午前11時～午後4時
会場 松ノ内緑地(市民センター北、大正橋東詰)
参加費 200円(参加者にはお土産あり)
問い合わせ 国際交流協会 ☎34-6340

第3回芦屋国際俳句祭記念行事

日時 3月20日(土・祝) 午前10時～正午
午後1時～4時 午後5時30分～7時
会場 ルナ・ホール 虚子記念文学館ほか
内容 高浜虚子顕彰俳句大賞ほか授賞式
講演「丘に立つ - 俳句の新傾向と守旧派」
俳誌『ホトトギス』主宰・稲畑汀子氏
第8回国際俳句シンポジウム
懇親分散小句会「五つの輪」(先着100人)
参加費 のみ1,000円

問い合わせ 芦屋国際俳句祭実行委員会事務局
(虚子記念文学館内) ☎21-1036

凡例... 日時(日程)、開会場・場所、内容、対象・定員、講師、出演、費用(記載の無い場合は無料)、持ち物、申し込み、問い合わせ

ごあんない Report

お知らせ

福祉社会職員募集
介護支援計画の作成。月収228,870円(大卒28歳手当込み)。採用予定日は平成16年5月1日 昭和38年4月2日以降生まれ、介護支援専門員の資格および普通自動車免許所持者1人 履歴書と志望動機を3月25日(木) <必着>までに下記へ送付 芦屋屋ハートフル福祉公社(☎38-3122 〒659-0054 浜芦屋町3-26)

児童センターからのお知らせ
園児童センター(☎22-9229)

【にんぎょうげき/ねこじやらし公演】
回3月23日(火)14時30分~15時30分 上宮川文化センター・ホール 園「まねっこきつね」ほか 園幼児と保護者、80人 園直接会場へ

【春休み子ども映画会】
回3月30日(火) 10時30分~11時45分 14時~15時15分 上宮川文化センター・ホール 園アニメ「狼王口ポ」シート動物記〜ほか 園各100人 園直接会場へ

【歌声ひろば発表会】
回3月31日(水)14時~15時 上宮川文化センター・ホール 園四季の歌、もしもピアノが弾けたならほか 園直接会場へ

【ソプラノリコーダーを寄贈ください】
今夏もフィリピンの小学校でリコーダーなどの指導をとおして子どもと交流する「フィリピンスクールプロジェクト」を開催します。不要なソプラノリコーダーがありましたら寄贈ください。

【ソプラノリコーダーを寄贈ください】
今夏もフィリピンの小学校でリコーダーなどの指導をとおして子どもと交流する「フィリピンスクールプロジェクト」を開催します。不要なソプラノリコーダーがありましたら寄贈ください。

【ソプラノリコーダーを寄贈ください】
今夏もフィリピンの小学校でリコーダーなどの指導をとおして子どもと交流する「フィリピンスクールプロジェクト」を開催します。不要なソプラノリコーダーがありましたら寄贈ください。

【ソプラノリコーダーを寄贈ください】
今夏もフィリピンの小学校でリコーダーなどの指導をとおして子どもと交流する「フィリピンスクールプロジェクト」を開催します。不要なソプラノリコーダーがありましたら寄贈ください。

【ソプラノリコーダーを寄贈ください】
今夏もフィリピンの小学校でリコーダーなどの指導をとおして子どもと交流する「フィリピンスクールプロジェクト」を開催します。不要なソプラノリコーダーがありましたら寄贈ください。

【ソプラノリコーダーを寄贈ください】
今夏もフィリピンの小学校でリコーダーなどの指導をとおして子どもと交流する「フィリピンスクールプロジェクト」を開催します。不要なソプラノリコーダーがありましたら寄贈ください。

【ソプラノリコーダーを寄贈ください】
今夏もフィリピンの小学校でリコーダーなどの指導をとおして子どもと交流する「フィリピンスクールプロジェクト」を開催します。不要なソプラノリコーダーがありましたら寄贈ください。

【ソプラノリコーダーを寄贈ください】
今夏もフィリピンの小学校でリコーダーなどの指導をとおして子どもと交流する「フィリピンスクールプロジェクト」を開催します。不要なソプラノリコーダーがありましたら寄贈ください。

【ソプラノリコーダーを寄贈ください】
今夏もフィリピンの小学校でリコーダーなどの指導をとおして子どもと交流する「フィリピンスクールプロジェクト」を開催します。不要なソプラノリコーダーがありましたら寄贈ください。

【ソプラノリコーダーを寄贈ください】
今夏もフィリピンの小学校でリコーダーなどの指導をとおして子どもと交流する「フィリピンスクールプロジェクト」を開催します。不要なソプラノリコーダーがありましたら寄贈ください。

【ソプラノリコーダーを寄贈ください】
今夏もフィリピンの小学校でリコーダーなどの指導をとおして子どもと交流する「フィリピンスクールプロジェクト」を開催します。不要なソプラノリコーダーがありましたら寄贈ください。

【ソプラノリコーダーを寄贈ください】
今夏もフィリピンの小学校でリコーダーなどの指導をとおして子どもと交流する「フィリピンスクールプロジェクト」を開催します。不要なソプラノリコーダーがありましたら寄贈ください。

【ソプラノリコーダーを寄贈ください】
今夏もフィリピンの小学校でリコーダーなどの指導をとおして子どもと交流する「フィリピンスクールプロジェクト」を開催します。不要なソプラノリコーダーがありましたら寄贈ください。

【ソプラノリコーダーを寄贈ください】
今夏もフィリピンの小学校でリコーダーなどの指導をとおして子どもと交流する「フィリピンスクールプロジェクト」を開催します。不要なソプラノリコーダーがありましたら寄贈ください。

【ソプラノリコーダーを寄贈ください】
今夏もフィリピンの小学校でリコーダーなどの指導をとおして子どもと交流する「フィリピンスクールプロジェクト」を開催します。不要なソプラノリコーダーがありましたら寄贈ください。

【ソプラノリコーダーを寄贈ください】
今夏もフィリピンの小学校でリコーダーなどの指導をとおして子どもと交流する「フィリピンスクールプロジェクト」を開催します。不要なソプラノリコーダーがありましたら寄贈ください。

【ソプラノリコーダーを寄贈ください】
今夏もフィリピンの小学校でリコーダーなどの指導をとおして子どもと交流する「フィリピンスクールプロジェクト」を開催します。不要なソプラノリコーダーがありましたら寄贈ください。

【ソプラノリコーダーを寄贈ください】
今夏もフィリピンの小学校でリコーダーなどの指導をとおして子どもと交流する「フィリピンスクールプロジェクト」を開催します。不要なソプラノリコーダーがありましたら寄贈ください。

【ソプラノリコーダーを寄贈ください】
今夏もフィリピンの小学校でリコーダーなどの指導をとおして子どもと交流する「フィリピンスクールプロジェクト」を開催します。不要なソプラノリコーダーがありましたら寄贈ください。

【ソプラノリコーダーを寄贈ください】
今夏もフィリピンの小学校でリコーダーなどの指導をとおして子どもと交流する「フィリピンスクールプロジェクト」を開催します。不要なソプラノリコーダーがありましたら寄贈ください。

【ソプラノリコーダーを寄贈ください】
今夏もフィリピンの小学校でリコーダーなどの指導をとおして子どもと交流する「フィリピンスクールプロジェクト」を開催します。不要なソプラノリコーダーがありましたら寄贈ください。

【ソプラノリコーダーを寄贈ください】
今夏もフィリピンの小学校でリコーダーなどの指導をとおして子どもと交流する「フィリピンスクールプロジェクト」を開催します。不要なソプラノリコーダーがありましたら寄贈ください。

【ソプラノリコーダーを寄贈ください】
今夏もフィリピンの小学校でリコーダーなどの指導をとおして子どもと交流する「フィリピンスクールプロジェクト」を開催します。不要なソプラノリコーダーがありましたら寄贈ください。

【ソプラノリコーダーを寄贈ください】
今夏もフィリピンの小学校でリコーダーなどの指導をとおして子どもと交流する「フィリピンスクールプロジェクト」を開催します。不要なソプラノリコーダーがありましたら寄贈ください。

【ソプラノリコーダーを寄贈ください】
今夏もフィリピンの小学校でリコーダーなどの指導をとおして子どもと交流する「フィリピンスクールプロジェクト」を開催します。不要なソプラノリコーダーがありましたら寄贈ください。

平成16年度介護保険料の仮徴収を開始
介護保険料を特別徴収(年金からの天引き)の方法で納付されているかたの保険料は、4月・6月・8月と10月・12月・2月に区別されます。4月・6月・8月は前年度の2月分と同じ額を年金から徴収させていただきます。これを「仮徴収」といいますが、仮徴収額の通知書はお送りしませんのでご注意ください。

平成16年度の介護保険料額は、市民税賦課決定後に決定され、年間保険料から4月・6月・8月に仮徴収として特別徴収された額を差し引いた額が10月・12月・2月の保険料額になりますが、これについては、7月中旬頃に通知書をお送りします。また、平成15年度の保険料が年金から特別徴収されていたかたであっても、何らかの理由で平成16年2月分が特別徴収されなかった場合、仮徴収が行われません。その場合は7月、8月、9月は納付書で納めていただくこととなりますが、10月の年金から再び特別徴収が開始されることがあります。

国際交流協会からのお知らせ
園国際交流協会(☎34-6340)
【第11回カルペディエムの会】
回4月2日(金)14時30分~16時 園国際交流協会会議室 園シャンソンとワールドミュージック 園松島征氏(京都大学教授) 園会員500円、非会員1,000円 園20人(要予約)

【ソプラノリコーダーを寄贈ください】
今夏もフィリピンの小学校でリコーダーなどの指導をとおして子どもと交流する「フィリピンスクールプロジェクト」を開催します。不要なソプラノリコーダーがありましたら寄贈ください。

【ソプラノリコーダーを寄贈ください】
今夏もフィリピンの小学校でリコーダーなどの指導をとおして子どもと交流する「フィリピンスクールプロジェクト」を開催します。不要なソプラノリコーダーがありましたら寄贈ください。

【ソプラノリコーダーを寄贈ください】
今夏もフィリピンの小学校でリコーダーなどの指導をとおして子どもと交流する「フィリピンスクールプロジェクト」を開催します。不要なソプラノリコーダーがありましたら寄贈ください。

【ソプラノリコーダーを寄贈ください】
今夏もフィリピンの小学校でリコーダーなどの指導をとおして子どもと交流する「フィリピンスクールプロジェクト」を開催します。不要なソプラノリコーダーがありましたら寄贈ください。

【ソプラノリコーダーを寄贈ください】
今夏もフィリピンの小学校でリコーダーなどの指導をとおして子どもと交流する「フィリピンスクールプロジェクト」を開催します。不要なソプラノリコーダーがありましたら寄贈ください。

【ソプラノリコーダーを寄贈ください】
今夏もフィリピンの小学校でリコーダーなどの指導をとおして子どもと交流する「フィリピンスクールプロジェクト」を開催します。不要なソプラノリコーダーがありましたら寄贈ください。

【ソプラノリコーダーを寄贈ください】
今夏もフィリピンの小学校でリコーダーなどの指導をとおして子どもと交流する「フィリピンスクールプロジェクト」を開催します。不要なソプラノリコーダーがありましたら寄贈ください。

【ソプラノリコーダーを寄贈ください】
今夏もフィリピンの小学校でリコーダーなどの指導をとおして子どもと交流する「フィリピンスクールプロジェクト」を開催します。不要なソプラノリコーダーがありましたら寄贈ください。

【ソプラノリコーダーを寄贈ください】
今夏もフィリピンの小学校でリコーダーなどの指導をとおして子どもと交流する「フィリピンスクールプロジェクト」を開催します。不要なソプラノリコーダーがありましたら寄贈ください。

【ソプラノリコーダーを寄贈ください】
今夏もフィリピンの小学校でリコーダーなどの指導をとおして子どもと交流する「フィリピンスクールプロジェクト」を開催します。不要なソプラノリコーダーがありましたら寄贈ください。

【ソプラノリコーダーを寄贈ください】
今夏もフィリピンの小学校でリコーダーなどの指導をとおして子どもと交流する「フィリピンスクールプロジェクト」を開催します。不要なソプラノリコーダーがありましたら寄贈ください。

【ソプラノリコーダーを寄贈ください】
今夏もフィリピンの小学校でリコーダーなどの指導をとおして子どもと交流する「フィリピンスクールプロジェクト」を開催します。不要なソプラノリコーダーがありましたら寄贈ください。

【ソプラノリコーダーを寄贈ください】
今夏もフィリピンの小学校でリコーダーなどの指導をとおして子どもと交流する「フィリピンスクールプロジェクト」を開催します。不要なソプラノリコーダーがありましたら寄贈ください。

【ソプラノリコーダーを寄贈ください】
今夏もフィリピンの小学校でリコーダーなどの指導をとおして子どもと交流する「フィリピンスクールプロジェクト」を開催します。不要なソプラノリコーダーがありましたら寄贈ください。

【ソプラノリコーダーを寄贈ください】
今夏もフィリピンの小学校でリコーダーなどの指導をとおして子どもと交流する「フィリピンスクールプロジェクト」を開催します。不要なソプラノリコーダーがありましたら寄贈ください。

【ソプラノリコーダーを寄贈ください】
今夏もフィリピンの小学校でリコーダーなどの指導をとおして子どもと交流する「フィリピンスクールプロジェクト」を開催します。不要なソプラノリコーダーがありましたら寄贈ください。

【ソプラノリコーダーを寄贈ください】
今夏もフィリピンの小学校でリコーダーなどの指導をとおして子どもと交流する「フィリピンスクールプロジェクト」を開催します。不要なソプラノリコーダーがありましたら寄贈ください。

【ソプラノリコーダーを寄贈ください】
今夏もフィリピンの小学校でリコーダーなどの指導をとおして子どもと交流する「フィリピンスクールプロジェクト」を開催します。不要なソプラノリコーダーがありましたら寄贈ください。

【ソプラノリコーダーを寄贈ください】
今夏もフィリピンの小学校でリコーダーなどの指導をとおして子どもと交流する「フィリピンスクールプロジェクト」を開催します。不要なソプラノリコーダーがありましたら寄贈ください。

【ソプラノリコーダーを寄贈ください】
今夏もフィリピンの小学校でリコーダーなどの指導をとおして子どもと交流する「フィリピンスクールプロジェクト」を開催します。不要なソプラノリコーダーがありましたら寄贈ください。

【ソプラノリコーダーを寄贈ください】
今夏もフィリピンの小学校でリコーダーなどの指導をとおして子どもと交流する「フィリピンスクールプロジェクト」を開催します。不要なソプラノリコーダーがありましたら寄贈ください。

【ソプラノリコーダーを寄贈ください】
今夏もフィリピンの小学校でリコーダーなどの指導をとおして子どもと交流する「フィリピンスクールプロジェクト」を開催します。不要なソプラノリコーダーがありましたら寄贈ください。

【ソプラノリコーダーを寄贈ください】
今夏もフィリピンの小学校でリコーダーなどの指導をとおして子どもと交流する「フィリピンスクールプロジェクト」を開催します。不要なソプラノリコーダーがありましたら寄贈ください。

【ソプラノリコーダーを寄贈ください】
今夏もフィリピンの小学校でリコーダーなどの指導をとおして子どもと交流する「フィリピンスクールプロジェクト」を開催します。不要なソプラノリコーダーがありましたら寄贈ください。

【ソプラノリコーダーを寄贈ください】
今夏もフィリピンの小学校でリコーダーなどの指導をとおして子どもと交流する「フィリピンスクールプロジェクト」を開催します。不要なソプラノリコーダーがありましたら寄贈ください。

【ソプラノリコーダーを寄贈ください】
今夏もフィリピンの小学校でリコーダーなどの指導をとおして子どもと交流する「フィリピンスクールプロジェクト」を開催します。不要なソプラノリコーダーがありましたら寄贈ください。

【ソプラノリコーダーを寄贈ください】
今夏もフィリピンの小学校でリコーダーなどの指導をとおして子どもと交流する「フィリピンスクールプロジェクト」を開催します。不要なソプラノリコーダーがありましたら寄贈ください。

【ソプラノリコーダーを寄贈ください】
今夏もフィリピンの小学校でリコーダーなどの指導をとおして子どもと交流する「フィリピンスクールプロジェクト」を開催します。不要なソプラノリコーダーがありましたら寄贈ください。

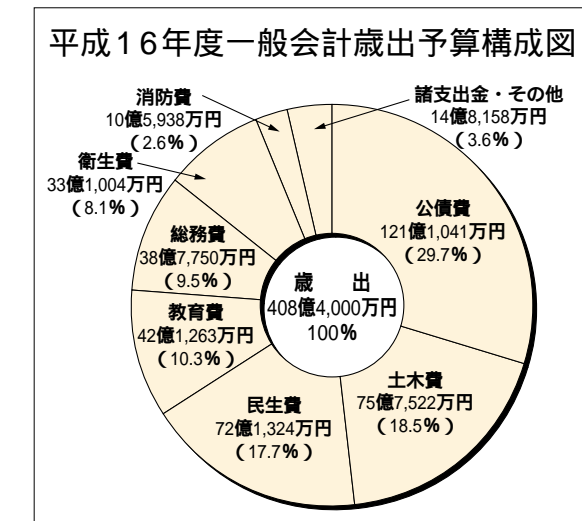
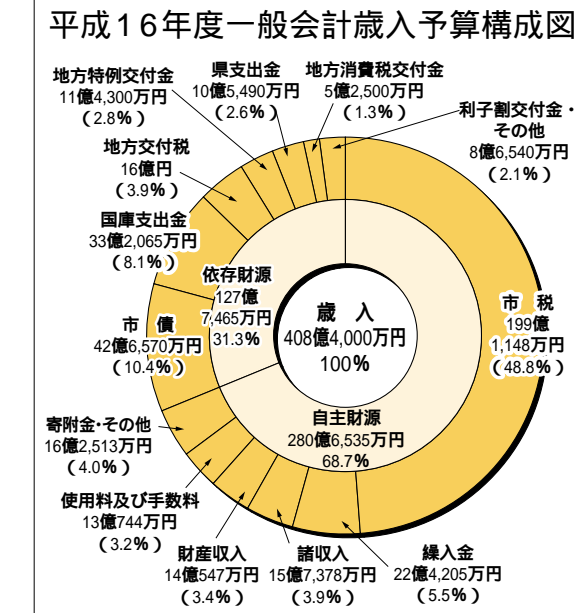
平成16年度の主な事業 (単位:千円)

(1)活気あふれる豊かな生活環境づくり	
災害対応特殊救急自動車購入	29,561
消防ポンプ自動車購入	19,586
低公害車普及促進事業	2,376
緑化等環境保全事業助成金	6,000
活力あるまちなか商店街づくり促進事業	2,250
(2)健やかでぬくもりのある福祉社会づくり	
前立腺がん検診事業	3,255
在宅介護支援センター事業	26,593
高齢者住宅改造成績事業	27,625
民間保育所誘致事業	4,000
身体障害者保護事業	122,098
知的障害者保護費	286,198
(3)人と文化を育てるまちづくり	
学習状況等調査業務	1,674
情報教育指導補助員派遣事業	3,217
教育工学システム事業	42,676
精進小学校校舎整備事業	11,000
子育てセンター運営事業	10,424
国民体育大会準備経費	31,513
(4)快適でうるおいのある都市づくり	
都市計画道路路路事業(山手幹線)	1,306,957
南芦屋浜地区道路整備事業	1,187,000
南芦屋浜地区都市公園整備事業	725,540
(5)市民と協働してつくる自立した行政基盤づくり	
情報公開及び個人情報保護事務	2,161
市長と市民の懇談会に関する経費	280
阪神・淡路大震災犠牲者追悼式経費	5,000
震災復興の総括と検証経費	5,442
震災復興10周年記念事業	2,114

【歳入】
歳入のうち最も多いのは市税です。市民の皆さんや事業者から納めていただく税金で、全体の四八・八パーセントを占めています。わずかながら前年度を上回ったもの、今後も大幅な伸びは期待できない状況となっています。次に多いのは市債で、一〇・四パーセントを占めています。市債は市の借金で、学校建設など、収入に多額の資金が必要ときに借り入れますが、最近ではいわゆる赤字地方債の借入れの割合が増えています。三番目に多いのは国庫支出金で、八・一パーセントを占めています。投資的事業の減少に伴い国庫支出金も減少してきていますが、今

【歳出】
歳出では、公債費(借入金の返済)が最も多く、全体の二九・七パーセントを占めています。十六年度はこのうち約二十一億七千万円が借り換えによるもので、この要因を除いた実質的な増加は約一億五千万円となっています。借入金の返済が本市の財政を大きく圧迫しています。次は土木費で、南芦屋浜のまちづくり計画に沿った道路、公園の整備事業などの関係で構成比は一八・五パーセントとなっていますが、土木費は前年度に比べて約九億三千万円の減少となりました。

【歳入】
歳入のうち最も多いのは市税です。市民の皆さんや事業者から納めていただく税金で、全体の四八・八パーセントを占めています。わずかながら前年度を上回ったもの、今後も大幅な伸びは期待できない状況となっています。次に多いのは市債で、一〇・四パーセントを占めています。市債は市の借金で、学校建設など、収入に多額の資金が必要ときに借り入れますが、最近ではいわゆる赤字地方債の借入れの割合が増えています。三番目に多いのは国庫支出金で、八・一パーセントを占めています。投資的事業の減少に伴い国庫支出金も減少してきていますが、今



平成16年度予算案概要 行政改革を反映した財政再建予算

二月二十七日開会の市議会に提案しました平成十六年度予算案の概要をお知らせします。市の予算は、一般会計、特別会計、企業会計、財産区会計の四種類の予算で構成されています。一般会計は、ごみ処理、住宅や道路、公園の整備、教育、福祉などに使われる行政運営の基本的な予算といえます。また、特別会計は、一般会計とは別に特定

【一般会計】
一般会計の予算額は、四百八億四千万円で、前年度に比べて一億九千万円、〇・五パーセントの増加となっています。行政改革の一環として行いました職員削減や給与水準の引下げ等による人件費の減少や山手中学校の耐震整備事業の完了、西部第二地区土地区画整理事業、街路事業費の減少等による投資的経費の大幅な減少があるものの、一方で、児

予防接種のご案内 保健センター ☎31-1586

芦屋市では、接種対象年齢内であれば、無料で接種可能です。集団接種は保健センターで行います。日程は広報でお知らせします。個別接種は市内予防接種受託医療機関で受けてください。申込書は医療機関にあります。必ず母子健康手帳を持って行きましょう。市外の学校園に通学・通園されているかたも受託医療機関で受けてください。個別接種における保護者の同伴は原則です。法改正により、どうしても都合がつかない場合、中学生については、保護者が同伴しない場合の個別接種を条件つきで認めることになりました。詳しくは、保健センターへお問い合わせください。

接種名	接種対象年齢	標準的接種年齢	回数	間隔	接種月
ポリオ	生後3~90カ月未満	生後3~18カ月	2回	6週以上	5、11月
ツ反・BCG	生後3~48カ月未満	生後3~12カ月	1回		年8回
三種混合	1期初回 生後3~90カ月未満	生後6~12カ月	3回	3~8週	通年
	(生後6~72カ月未満までが望ましい)	初回接種(3回)後12~18カ月	1回		
個別接種	1期追加 生後3~90カ月未満	3歳	2回	1~4週	通年
	麻疹(はしか) 生後12~90カ月未満	生後12~15カ月	1回		
風しん	生後12~90カ月未満	生後12~36カ月	1回		通年
	1期初回 生後6~90カ月	3歳	2回	1~4週	
日本脳炎	1期追加 1期初回終了後1年	4歳	1回		通年
	2期 9歳~13歳未満	小学校4年生	1回		
	3期 14歳~16歳未満	中学校3年生	1回		
二種混合	11歳~13歳未満	小学校6年生	1回		通年

*三種混合は、ジフテリア、破傷風、百日咳。二種混合は、ジフテリア、破傷風です。

本市の財政が危機的な状況に陥っていることは、昨年十月末に公表しました「長期財政収支見込」や「行政改革実施計画」で示したとおりであり、平成十六年度予算は、財

政再建に向け、行政改革実施計画の着実な実行を反映するとともに、内部経費を中心に歳出全般についてさらなる経費の節減・合理化に努めま

区分	予算額	増減率(%)
一般会計	408億4,000万円	0.5
特別会計	242億4,280万円	2.9
国民健康保険事業	66億5,300万円	3.4
下水道事業	37億3,200万円	4.2
公共用地取得費	11億1,300万円	175.5
都市再開発事業	2,300万円	4.2
老人保健医療事業	82億 300万円	3.7
駐車場事業	2億8,880万円	1.4
介護保険事業	42億3,000万円	5.8
企業会計	96億5,273万円	1.3
病院事業	59億7,902万円	4.3
上水道事業	36億7,371万円	4.0
財産区会計	1,980万円	56.2
合計	747億5,533万円	1.0

時間目	放送時間	内容	開始時刻
1時間目	00	あしやNOW(*)フォーカス芦屋「4月から変わります」	6:00
	20	レポート9ch【再放送】(*)平成11年3月放送	8:00
	30	あしや自然百科「芦屋の生物 パート6」	10:00
	40	チャレンジレポート(*)「小学校の先生にチャレンジ」	12:00
2時間目	00	広報欄りつきり(*)「春の小川」「武庫高校閉校式・最後の卒業生」	14:00
	30	「ACAトワイライトコンサート」「芦屋病院マチネコンサート」	16:00
	00	芦屋市民企画番組(*)「ひまわりのように~新しい出発3」	18:00
	30	西宮ライブラリー 町名の由来「大谷町」	20:00
	22:00	ニッポンみたま(30分)「21世紀型のまちづくり~都市再成プロジェクト~」	22:00

放送時間 6:00~24:00(上記の順に毎朝6時から2時間サイクルで9回繰り返し放送します)
(*)印の番組はビデオの貸出可 広報チャンネル(9ch)に関する問い合わせ 広報課 ☎38-2006
CATV全般に関する問い合わせ 機ケーブルネット神戸芦屋J-COM Broadband神戸・芦屋 ☎0120-13-8160

9ch 広報チャンネルガイド

芦屋市広報番組 (CATV9ch)の変更について
本市のケーブルテレビ広報番組は、これまで9チャンネルを単独で利用し放送してきましたが、この度、行政改革実施計画に基づき、番組制作の見直しを図りました。4月から9チャンネルでは、芦屋市広報番組とC-COMのコミュニティチャンネル(従来の5チャンネル)を合わせて放送する予定です。芦屋市広報番組(30分間)は、1日5回の放送で、開始時間は以下のとおりです。

8:00	11:30	16:00	19:30	22:30
------	-------	-------	-------	-------

問い合わせ 広報課 ☎38-2006

芦屋川カレッジ(高齢者大学)第21期生募集
日程 5月~平成17年3月、水曜日中心
必修コース(全36回) 午前10時~11時30分
選択コース(全15回) 午後1時15分~2時45分
会場 市民センター401室ほか
定員 芦屋市内在住で満60歳以上の初めて受講するかた
資格 年間10,000円、別途教材費等必要
受講料 年間2,700円
芦屋川カレッジ聴講生の募集
資格 芦屋川カレッジ修了生、各コース50人
受講料 年間2,700円
問い合わせ 公民館 ☎35-0700(〒659-0068 業平町8-24)

芦屋川セカンド・カレッジ
日程 5月~平成17年3月(全10回)、午前10時~11時30分
内容 Aコース:「この美しい惑星を永遠に 環境と生活について考える」、月曜日、100人
Bコース:「ユラシアの歴史と文明 地中海文明の位置」、木曜日、100人
受講料 年間3,000円、別途交通費等必要
会場 市民センター
申し込み 往復はがきに、講座名 住所 氏名 電話番号 年齢(生年月日) 性別 第2希望があればその旨 芦屋川カレッジ受講希望者以外は修了期を明記し、3月31日(水)<消印有効>までに公民館へ

水道まめ知識
Q 転入・転出や転居する時の開栓や閉栓について、

寄稿



女と男 - バランスある社会へ

自分らしい「ワーク&ライフ」スタイルを求めて

少子高齢化・グローバル化・高度情報化等により、私たちを取り巻く環境は大きく変化しています。荒金雅子氏の寄稿をもとに、男女が共に充実した人生を送るための自分らしい「ワーク&ライフ」を一緒に考えてみませんか？

問い合わせ 男女共同参画推進担当 ☎38-2023

荒金 雅子(あらかね・まさこ)氏
㈱ライフキャリアデザイン・アソシエイツ代表取締役。
男女共同参画政策と女性の能力開発に関するコンサルティング活動に10年の実績を持つ。企業のビジネス戦略と働く女性の活躍推進について研究を続けている。



女性の働き方の変化

先日、所用で島根県の松江を訪れた時のこと。何度かタクシーを利用しましたが、驚いたことにいずれも女性のドライバーでした。理由を尋ねてみると、歩合制で働きに依り男女関係なく収入が得られること、昼食時には自宅に帰れるなど勤務形態も柔軟なので就職を希望する女性が増えているとか。そういえば、昨年三重県でインタビューしたタクシー会社の売り上げトップドライバーは六十一歳の女性でした。働く女性の増加に伴い、さまざまな分野に女性が進出し活躍



しはじめていることを改めて実感した出来事でした。

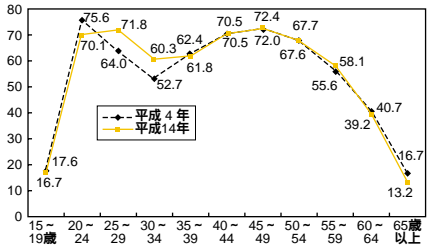
現在、雇用されて働く女性は二百六十一万人平成十四年で、雇用に占める割合は四割を越えています。勤続年数も年々伸びており女性の平均勤続年数は八・八年となっています。起業やNPO創業をめざす女性も増えてきました。男女共同参画社会基本法や雇用機会均等法も整備され、平成十五年からは女性の社会参画をいっそう進めようとする内閣府が中心となって「女性のチャレンジ支援」制度が始まりました。まさに女性が当たり前に働く時代の到来です。けれど一方、現実の生活に目を向けてみるとまだまだ解決しなければならぬ問題も残されています。

やっぱり難しい？仕事と家庭の両立

働く女性の割合を年齢別にみると、二十歳代後半から三十歳代前半の子育て期に大きく落ち込んでおり、「M」の字に似ているために「M型就業形態」とよばれています。最近では三十歳代前半でも六割の女性が働くようになりMの底がだんだん上昇しています。しかしこれは女性の未婚晩婚化が進んだことによるもので、第二子を出産後に退職

する女性の割合は約七割にもなり、仕事と育児の両立が依然として難しいことを物語っています。また、出生率低下の背景には、仕事と家庭のバランスがとれない現状が影響しているといわれています。両立しやすい施策

女性の年齢階級別労働力率
資料出所：総務省統計局「労働力調査」



な負担です。家庭責任を負うために仕事に専念できなかったり、男性に比べ昇進や昇格、賞金などに大きな差が生じています。この背景には「家事・育児は女性が担うもの」という考え方が影響を与えています。

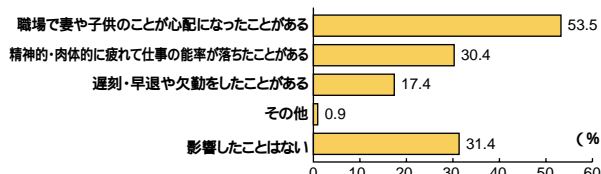


を講じている国ほど出生率が高い傾向が見られており、子育てと仕事の両立支援はますます必要になっていきます。子育てが一段落した女性の半数以上は働くことを望んでいますが、その多くはパートや派遣労働などの不安定な働き方を選択せざるを得ない状況です。働き続ける女性にとっても、育児や介護と仕事の両立は大きな負担です。家庭責任を負うために仕事に専念できなかったり、男性に比べ昇進や昇格、賞金などに大きな差が生じています。この背景には「家事・育児は女性が担うもの」という考え方が影響を与えています。

両立は男性にとっても大事な問題

さらにこのような考え方は働く男性にとっても大きな障害となっています。「過労死」という言葉を生み出した長時間労働は、男性から仕事以外の生活の権利を奪っているともいえます。平成十五年の調査(図)によると、妻の育児ストレスが夫の仕事に影響を与えていることが明らかになりました。妻が育児ストレス等を抱えていると思ったことのある男性に仕事への影響を聞いてみると、「精神的・肉体的に疲れて仕事の能率が落ちた」とする男性は三割、「子どもや妻のことが心配」という男性は五割を占めています。また、就学前の子どもの看護のために休んだ経験があるそうです。価値観が多様化する中で、もっと家庭を大切にしたいと考える男性が増えています。女性の働き方を考えることは、男性にとっても働きやすく、暮らしやすい社会を作ることにつながるのです。

図 妻の育児不安の仕事への影響(複数回答)
(妻が育児ストレス・不安、育児ノイローゼ、産後うつではないかと思ったことがあると回答した雇用者男性)



資料出所：独立行政法人日本労働研究機構「育児や介護と仕事の両立に関する調査」

「ワーク・ライフバランス」という考え方

「仕事と家庭の両立」を一層進めるためには、最近注目されている「ワーク・ライフバランス」という考え方が一つの解決策になるのではないかと考えています。これは、「個人が充実した私生活を送ることは企業にもよい成果をもたらす」という発想にたっています。長時間労働が成果を生み出すという時代は終わり、これからは仕事と生活の両立を支援することが生産性を高め、優秀な人材を確保し企業の競争優位につながるという考え方をいいます。前述のタクシー会社の例をみても六十一歳の女性が会社に大きく貢献できたのは、仕事と生活の両立ができる多様な働き方を会社が認めたからにはなりません。自分らしい仕事と生活のバランスをとること

で、仕事にやりがいをもって充実した生活を送ることができるのです。また、「ワーク・ライフバランス」を考へることは、これまで女性が家庭や地域で担ってきた「地域活動」「PTA活動」「家庭内介護」「育児」など生活を維持するために不可欠な活動の価値を見直すことにもなります。本当に豊かな社会とは、どのようなお金は払われていないけれども大切な活動無償労働「アンパイドワーク」を正當に評価し、男女にかかわらずそれらに従事している人やこれから積極的に取り組もうとしている人が誇りを持って生きていける社会ではないでしょうか。男女共同参画社会は、一人ひとりの個性を活かし、多様な柔軟な生き方を認め合う社会です。自分らしい「ワーク&ライフ」とはなにか、自分はどうな生き方がしたいのか、そのために何ができるか考えることからその一歩が始まります。

歴史散歩 59

今も残る戦前の面影
奥山 芦屋にあった水力発電所

芦屋に電灯が供給されたのは、今から九十六年前明治四十一年のことです。当時私鉄として阪神間に最初の電車を運行させた阪神電気鉄道株式会社が、電鉄の開通に続いて沿線一帯に電灯の供給と普及を開始しました。供給された翌年には、精道村(現芦屋市)の戸数七百六十二戸に対してわずか八十七灯の電灯が、八年後には三千三十六灯とめざましい普及をみしました。こうした普及の中、大正四年(一九一五)一月に阪神水電興業株式会社芦屋川の上流、今の芦屋川取入口付近に「芦屋川水力発電所」を開業しました(写真下)。当発電所の上流より



芦屋川水力発電所(大正3年撮影)

延長五百八十メートルの導水管を延ばし、そこから高低差百メートルをもたせて水を発電所まで落下させていました。発電所内には、二機の水車と発電機一台が完備されており、一〇キロワットの電力を供給してました。そこから出力された電力は、打出村字宮塚(現宮塚町十)の「精米工場打出変電所」に送電されていました。この変電所では、精米百十個をもち、動力による精米業が行われていました。その後、阪神電気鉄道株式会社が発電所を買収し、戦後、関西電力が引き継ぎました。そして、昭和三十六年、施設の老朽化により発電を止め、五年後に廃止されました。

現在は、阪神水電興業から引き継がれたこの発電所跡とそれに付属していた導水管跡(上流山腹内/写真上)が、ひっそりと残っています。

導水管跡



芦屋が農村から近郊住宅地に発展したことを物語る貴重な近代の産業遺産とされています。戦後まで続いた発電所のことを「おぼろ」の歌がいつしかいきましたら教えてください。後世に伝え残したい芦屋の文化遺産の一つなのです。

問い合わせ 美術博物館 ☎5432